

# < 基本動詞 > BRINGの世界

## CORE IMAGE



ある対象を手にして  
ある場所に移動させる

Can you bring the box here?



bring は英語でもよく使われる基本動詞です。Can you bring the box here?(その箱をここに持ってきてくれる)、What brings you here?(きみはどうしてここにいるの?)、War brings horror and grief.(戦争は恐怖と悲しみをもたらす)といった使い方が典型的です。

そのコアは、「ある対象を手にしてある場所に移動させる」ということですが、「ある対象」は物と人が含まれます。Join us. Aerobics brings your health.(参加しませんか。エアロビをすれば健康になります)や Don't bring shame on the family.(家族に恥をかかせるようなことはするな)も同じです。

「ある場所」とは話し手、または聞き手のいる場所、あるいは話題となっている場所のことです。「手にして」は典型的には「持って」あるいは「連れて」ということです。多くの場合、「手にして」は比喩的な意味で理解しなければなりません。



What brings you here?

きみはどうしてここにいるの？



War **brings** horror and grief.

戦争は恐怖と悲しみをもたらす



Join us. Aerobics **brings** your health.

参加しませんか。エアロビをすれば健康になれます



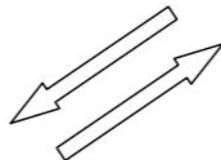
Don't **bring** shame on the family.

家族に恥をかかせるようなことはするな

「話題となっているところ」への移動ということからいえば、come と似ていますね。  
話題となっているところを HERE で表せば、THERE からHEREへの移動ということになります。  
移動の方向ということからは come は go と対比されるように、bring は take と対比されます。

Come here.  
**Bring** it here.

HERE



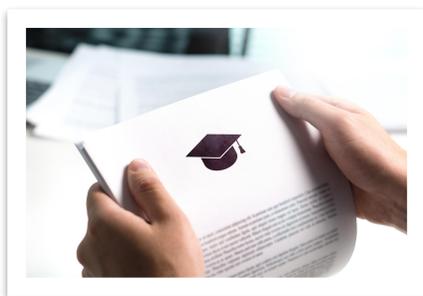
THERE

Go there.  
Take it there.

**Bring it here.** は典型例で、「それをここに持って来い」という意味です。Come here. の場合だと、当の相手がここに移動してくるということになりますが、bring の場合には「何かを伴ってくる」ということで、人の場合には「連れてくる」、物の場合には「持ってくる」と日本語では訳し分けます。「そこに行け」は Go there. で、「そこに何かをもって行け」は Take it there. となります。

しかし、come の用法に、I'll come over to your house next Sunday. (次の日曜日に家に遊びに行くよ)といった使い方があります。これは、心理的に相手の家に視点を置き、その視点のあるところに移動するということです。同様に、**Why don't you bring this letter to Prof. May?** のような使い方が bring には可能です。I'll come over to your house next Sunday. という場合、HERE→THERE への移動なので go となるはずですが、your house に視点を置くことで自らもその場にいる感覚 (HERE の感覚) で状況を捉え、I'll come over to your house. のような言い方が可能になっているのです。

Supper is ready. Why don't you join us? という母親に対して、OK, Mom. I'm coming right away. と答える少年の come の使い方も同じですね。話題の中心が食卓にあるため、そこに心理的に視点を置き、I'm coming. と表現しているのです。**Why don't you bring this letter to Prof. May?** の場合も同じ理屈です。メイ教授のところに心理的視点を置き、一見したところ、HERE→THERE への移動でも、THERE が心理的に HERE になっているため、bring の使用が可能なのです。視点が置かれたところ (HERE) から離れる動きを含意する go と take については、ここでいうような心理的な視点の移動は関与しません。視点が置かれた途端に HERE になるからで、HERE を視点の移動で THERE にすることは実際上むずかしいからです。



## Why don't you **bring** this letter to Prof. May?

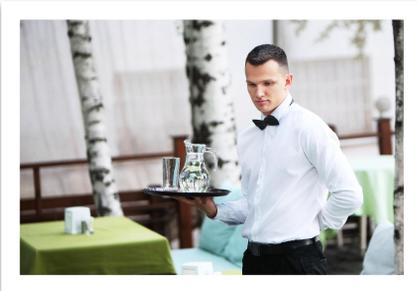
この手紙をメイ教授に持って行ってみたら？

通常、視点は話し手が居るところに置かれます。そこで **Bring your girlfriend with you.** のように移動場所を明示しなくても、bring を使うことができます。「話し手の居るところ (ここに彼女を連れてきたら)」という解釈が成り立つからです。**Bring me a glass of water.** (ぼくに水を一杯持ってきて) という言い方が可能なのも、話し手 (=me) がいるところが視点の置かれた場所だと了解できるからです。一方、take だと Take your girlfriend with you. のままだと、「どこに」という場所が不明なので、情報的に不完全となります。



**Bring** your girlfriend with you.

彼女を連れてきて



**Bring** me a glass of water.

ぼくに水を一杯持ってきて

bring についてもう1つ大切なポイントは、何かを移動させた「結果(結末・状態)」に焦点が置かれるということです。carry も「何かを伴って移動する」という意味合いがありますが、carry だと「移動」そのものに焦点が置かれます。一方、bring は「移動の結果」に焦点が置かれるという違いがあります。そこで、**Exercise brings you health.** だと「運動をすること」、このことが「あなたが健康を得る」という結果をもたらすということから、「運動すれば健康になれますよ」という意味合いになるのです。**Bring the fight to an end.** だと to an end が「結果」であり、「戦いを終わりにせよ」ということです。



Exercise **brings** you health.

運動すれば健康になれますよ



**Bring** the fight to an end.

戦いを終わりにせよ